

乳幼児の麻しん感染を予防 児童福祉施設等職員に予防接種を実施

久留米市では、乳幼児への麻しん感染拡大を防ぐため、乳幼児と接する機会の多い児童福祉施設等の職員に、公費で予防接種を実施します。

背景として、全国的に麻しんが流行していることや、ラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピック開催により、外国人観光客が増加し、感染症流行のリスクが高まること、などがあります。

【 事業概要 】

(1) 対象者

市内の保育所、幼稚園、児童養護施設などの児童福祉施設で乳幼児と接する職員

(2) 対象見込数

156施設 約3,500人

(3) 実施期間

令和元年8月26日～令和2年3月31日

(4) 接種場所

市内の医療機関

(5) 本人負担

無料

(6) 実施方法

市は、対象施設に対し、制度に関する通知や予防接種を受けるための受診券を送付。対象職員は、受診券を持って、医療機関で予防接種を受ける。

(参考) その他の麻しん風しん感染予防の取り組み

(1) 周知啓発

- ・子どもの定期予防接種案内通知に保護者向け麻しん風しん啓発文を掲載
- ・婚姻届提出のカップルにチラシを配布
- ・ホームページ、広報紙、商工労働ニュース等での広報

(2) 費用助成

- ・風しん抗体検査や風しん（麻しん）予防接種に助成
- ・風しん（麻しん）予防接種等の無料クーポン券を対象男性に送付

(3) 職域への働きかけ

- ・市内主要企業に対し、健診での風しん抗体検査等の実施を依頼